



平成24年度4月入学(第12期生) 実務経験証明書

※実務経験の期間・職種が複数に分かれる場合は、用紙をコピーして複数枚の実務経験証明書に分けて記載してください。

※訂正した場合は、証明者の公印を押印してください。

修正液は使用しないでください。

※1つの機関に勤務していても、勤務した職種・期間が複数ある場合は、複数枚数に分けて実務経験証明書を作成してください。

フリガナ	生年月日			昭和 平成	年	月	日
氏名	年齢			歳			
施設・事業の種類	(※1)						
	(※2)						
職種 (※1)							

(※1) 別紙の「実務経験の対象となる施設・業種・職種」一覧をご参照ください。

(※2) 法改正により、施設種類の呼称が変更した場合は、旧施設種類をご記入ください。

(1), (2) のいずれか1つのみに記入してください。

(1) 現在も勤務している場合 上記の者は、昭和____年____月____日より 当機関・施設において、上記職種として 勤務していることを証明します。 (勤務している期間 ____年 ____ヵ月)	(2) 過去に勤務していた場合 上記の者は、昭和____年____月____日より 昭和____年____月____日まで ____年 ____ヵ月の期間、当機関・施設に おいて、上記職種として勤務していたこ とを証明します。
---	---

平成 ____年 ____月 ____日

所在地

施設・機関名

機関・施設代表者

公印

※施設・事業種類と職種は、別紙の表の名称でお書きください。

それ以外の名称・名称を省略したものは認められません。

悪い例：ケアマネジャー、相談援助業務、医療ソーシャルワーカーなど

※実務経験を証明する職種が「介護支援専門員」の場合、介護保険法の施行日は平成12年4月1日のため、それ以前から勤務していても証明日は平成12年4月1日以降としてください。

※実務経験証明書の内容は、実務経験申告書と整合性がとれるようにしてください。

注：本証明書に記載された実務経験・職種などが事実と異なった場合は、本課程を修了しても国家試験の受験資格が得られなかったり、資格取得後でも資格を剥奪される場合がありますので十分注意してください。

